**令和５年度　１回日野市自殺総合対策基本計画策定委員会　要点録**

|  |  |
| --- | --- |
| **日時** | 令和５年６月２６日　18：30～20：30 |
| **場所** | 101会議室 |
| **参加者** | 元永委員長、高塚副委員長、田中委員、佐々木委員、山本委員、鈴木委員、中野委員、丹野委員、岡田委員、長﨑委員、和田委員、山下委員、中田委員、セーフティネットコールセンター、健康課 |
| **欠席者** | 杉本委員・相馬委員・杉山委員・尾山委員・高橋委員 |
| **次第** | １　　委嘱状配布  ２　　開会　あいさつ  ３　　委員自己紹介  ４　　事務局自己紹介  ５　　議題  ①委員長・副委員長の選出について  ②日野市の自殺対策について  ③今までの議論の振り返り  ④各課事業の現状報告  ⑤事業の改定と新たに取り組むべき事業について  ⑥今後の日程と進め方について  ６　　その他  見えてきた課題についてのディスカッション |
| **配布資料** | 資料１　日野市の自殺対策について  資料２ 今までの議論の振り返り  資料３ 各課事業の現状報告  資料４　事業の改定と新たに取り組むべき事業について  資料５ 今後の日程と進め方について  参考資料１　日野市自殺総合対策基本計画策定委員会設置要綱  参考資料２　「自殺総合対策大綱」のポイント |
| **主な内容** | **１　委嘱状配布**  第１回日野市自殺総合対策基本計画策定委員会について、令和５年４月１日から令和６年３月３１日までの委嘱期間となるため委嘱状机上配布。  **２　健康福祉部長よりあいさつ**  令和５年度の組織改正で、自殺対策事業がセーフティネットコールセンターから健康課へ変更となる旨説明あり。平成３１年度依頼２回目の計画改定のために本委員会を設置。  今年の4月に発足した子ども家庭庁の中に自殺対策室が設置されるなど今まで以上に課題認識が高まってきてい。女性あるいは小中高生の自殺が増加するという状況の中さらなる対策の強化と推進が求められているところ。 計４回の委員会で、事業や連携が今の時代そしてこれからの時代に即しているのかの点を確認し 誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指していきたいと考えている。  **３　委員等紹介**  南多摩保健所、教育委員会の委員が変更となったため委員自己紹介。事務局自己紹介。  **４　委員長・副委員長の選出**  委員の互選により元永委員が委員長に選任された。元永委員長の指名により、高塚委員が、副委員長に選出された。  **５　日野市の自殺対策について**  初めての委員もいるため、改めて日野市の自殺対策について資料１を使って説明。条例の制定や計画について。令和４年度の自殺者の合計など。  **６　今までの議論の振り返り**  令和元年から委員会の中で出た意見を議事録から抜粋し、まとめたものを資料２を使って説明。重要だと思われる部分をカテゴリーに分け、再確認した。  **７　日野市自殺総合対策推進基本計画（基本・重点）施策　報告**  令和４年度に各課が行った施策についての報告と、令和５年度の課題と取り組みについて資料３を使って説明。前回の委員会で詳細な事業について説明しているため、ここでは令和４年度の報告ということで割愛。  **８　事業の改定と新たに取り組むべき事業について**  計画改定にあたり、現在進行中の施策の評価方法と新たに取り組むべき事業についての募集を資料４を使って説明。  意見の提出は７月３１日締切。  **９　今後の日程と進め方について**  令和５年度の委員会の日程や、今後の大まかな進め方について資料５を使って説明。  **１０　質疑応答**  ・資料１～資料５までの質疑あり。  ・計画改定についての評価方法などの質問あり。  ・作成資料について、課名だけではなく、部名も入れてほしいという要望あり。  ・誤字脱字があったため資料を訂正して再送付する。  ・日野市の直近３年程度の自殺人数等の資料の要望有。  **１１　意見交換**  （元永委員長）  自由連想的に意見を言ってもらえると、それが次につながっていく。  ・自殺の問題は、ジェンダーに関してや、子育ての悩み、経済のこと、コロナの影響など様々な要因があると思う。  ・スーパーのパンフレット設置はみたことがない。できれば、次に写真とかもらえるか？  ・啓発の蛍光ペンはどんなものか？ ➡その場で配布した  ・自殺問題は難しいので、縦割りではなく横の連携をもっと強化してほしい。意識的に取り組むことが必要だと思う。  ・民生委員の欠員がでている。なかなかなり手がいない。自殺防止のキャンペーンで駅で活動していると、足を止めてくれる。普段の活動から認知度や理解度、自殺に関する啓もう活動をしていきたいと思う。  ・計画に上がっている項目は、市の担当部課が何をやるというものもあるが、民生委員さんとかボランティアの人、市民が関係しているものも多い。市と市民がつながって、活性していくという目線があると、計画が市民のものとなっていいく。  ・いのちのミュージアムについて、コロナのせいもあってなかなか出来ないことも多かったが、以前は地域の方や親子で見てもらい、命について話し合える機会があったと聞いていた。直接の自殺対策になるかは分からないが、子どもたちに何かを伝えられているという実感はある。これからも何か感じてもらえるように提供していきたい。  ・救急病院に搬送された自殺未遂者に対するサポートをどうしていくか重要。日野だけではなく、多摩、立川など近隣の病院と連携していく必要がある。  ・日野市のデータの中で働いている人の自殺が目立つ。特に中小企業で働いている人に対する職場のメンタルヘルスをどうしていくか。地域振興担当課などが介入していくには難しいこともある。大きい企業は、企業自体が対応を考えることができるけど、中小企業はむずかしい。そこをどうしていくかが課題。  ・7/20に南多摩５市で自殺担当者会議をする。それぞれの市も計画改定の時期に来ている。  **１２　その他**  次回の委員会は9/28に開催。505会議室で18：30～。 |